

■株式会社ビー・エム・シー・インターナショナル



■企業概要

所在地：大阪府中央区安土町 2-3-13

事業内容：徴税記録用デバイス、キャッシュレジスタ、POS、コインカウンターの製造・販売

資本金：27,000 千円 従業員数：10 人

URL：<http://www.bmcinc.co.jp/japan/>

■SDGs 貢献に向けた取り組みの概要

【アフリカ各国で

付加価値税徴収用レジの導入を推進】

- ・1990 年代に財政難に陥ったイタリア政府は、付加価値税の脱税対策として、政府が認証した「フィiscal・キャッシュレジスタ」の導入を義務付けた。販売履歴がレジ内蔵のチップに記録され、それを国税局が閲覧できる仕組みとなっており、脱税取締りに効果をあげた。
- ・同社は、まずは、スウェーデン、ベルギー国内での販売権を取得し、成功をおさめたが、その後、同様の仕組みが導入された、中南米、ロシアへ進出、そして、現在はアフリカ各国への販売にも取り組んでいる。ただし、こうした国々は、政治や行政が不安定であることが多く、また税制や徴税システム自体も整っていないことがある。そこで、同社は、政府に対する税制や徴税の制度設計にかかわるコンサルティングなども含めて、中小企業としての機動性の高さを強みに、開発途上国を中心とした各国でのビジネスを展開している。

TICAD 6 NAIROBI 2016



(資料提供)BMCインターナショナル

近畿経済産業局作成 「関西発 SDGs 貢献取組事例集」 2019 年 3 月公表

[関西 SDGs 貢献ビジネスネットワーク] ホームページに掲載

<https://www.kansai.meti.go.jp/2kokusai/SDGS/businessnetwork/businessnetwork.html>